凌雲台

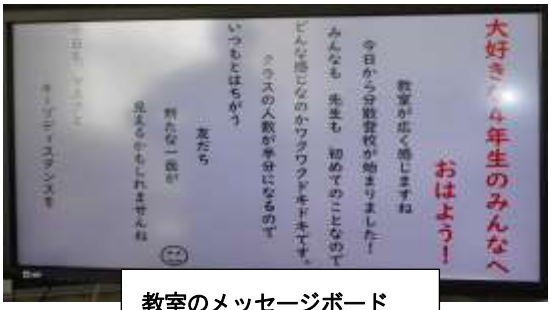
ふるさとに笑顔広げる　龍野っ子
～笑顔　元気　感謝　安全～

龍野小学校学校便り
第６号
令和２年５月２２日
文責：校長　大江律子

分散登校スタート～学校に笑顔があふれました～

龍野小学校職員一同、子どもたちが学校に元気に登校してくれるのを楽しみに待っています。20 日の分散登校では、どの教室でも笑顔あふれる子どもたちの姿が見られました。

入学した１年生も教室で張り切って学習していました。どの教室も、いつもと違う雰囲気の登校でしたが、とても落ち着いて生活していました。子どもたちの分散登校の感想として「学校でみんなにあえてよかった」「やっぱり学校がいい」と話してくれました。



教室のメッセージボード

職員からは、「少ない人数で、こまやかに声をかけらけれた」「長期の休みあけなので、一人一人としっかりかかわれる」などの声が聞かれました。運動場で遊んでいた４年生の子どもたちが、互いに声をかけ合って５分前には教室に帰る姿も見られました。子どもたちのたくさんのよさやがんばりを見ることができた分散登校でした。子どもたちの笑顔がやっぱり一番です。

～安心･安全に学校で生活できるように～

龍野小学校では、コロナウィルス感染対策として、最善な方法を考えながら取り組んでいます。一番人数が多い５年生は、多目的室に教室を移動し、３密を防ぐ対策にしています。

多目的室で学習する５年生

授業では、職員のアイディアで、フェイスマスクを作成し活用しています。グループで意見を発言するときは、子どももフェイスマスクをつけて意見の交流をしています。試行錯誤しながら、子どもたちの安全を守るとともに、分かる・楽しい授業づくりにも取り組んでいます。

フェイスマスクをして授業する６年生の子どもたち

授業中には、トイレなど共有する場の消毒作業を行っています。午前の子どもたちが帰った後は、机、ドアノブなどの消毒し、午後からの授業に備えています。子どもたちが、安心・安全に学校生活が送れるよう全職員で力を合わせて取り組んでいます。

消毒作業をする職員

「みんなをたいせつにするために、マスクを着けよう」

今、学校では、「なぜ、マスクをつけるのか」という話をしています。「マスクは、自分だけではなく、周りの人を守るためにつけるもの」と子どもたちに話をしています。是非、ご家庭でもマスク着用の意義を子どもたちに話をしてください。

本日、松岡先生、木村先生、西村先生が作成の手作りマスクを配付いたしました。子どもたちのためにと心を込めて作られたマスクです。感謝して使ってくれることを願っています。